

河川の生物相

昭和 56 年に、清瀬水再生センターが稼働を始め、柳瀬川の水質浄化が進められました。平成 2 年に建設省が多自然型川づくりの推進を通達していましたが、現場工事では、コンクリートや極石護岸造りが続けられ、平成 8 年の金山橋上流の工事からやっと多自然型工法を取り入れるようになりました。

川に棲む魚類を中心とした生物の歴史も、高度成長期にどぶ川と化し、生物が全く棲めなくなった時代から、水再生センターの稼働と河川が多自然を意識した改修の始まりにより、生物が棲みやすい環境づくりが進み、生物の種類・数が増えています。

近年では、アユ・オイカワ・ナマズ・マルタなどの産卵が確認され、環境省から絶滅危惧種Ⅱ類に指定されているギバチの生息と繁殖が確認できています。

また、生物の餌となるカゲロウ・カワゲラ・トビケラの仲間も豊富に生息していることが、柳瀬川に安定的な餌料を供給し、生物の生息環境を豊かにしていることを証明しています。

柳瀬川の生物調査を実施している「川づくり・清瀬の会」の、過去 18 年間のデータは、生物の着実な復活を証明しています。（柳瀬川の魚類・水生生物調査実績資料）調査開始の平成 10 年には、約 33 種類の生物が確認できましたが、平成 28 年には約 42 種類の生物が確認できるようになりました。



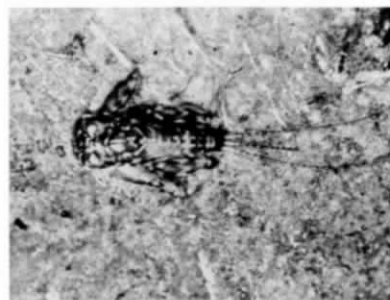
アユ



ギバチの稚魚



小石で巣を作るトビケラの仲間



カゲロウの仲間

柳瀬川の魚類・水生生物調査実績

魚類

生物種・数			H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
目	科	種名																			
ウナギ目	ウナギ科	ウナギ															○	○	○	○	
		ギンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		キンブナ		○		○	○														
		フナの仲間																	○	○	○
		キンギョの仲間												○						○	○
コイ目	コイ科	コイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●
		タモロコ		○	○	○		○		○			○	○	○		○				○
		ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		カマツカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		モツゴ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オイカワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		カワムツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		タイリクバラタナゴ	○	○	○	○															
		マルタ (回)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●		●	●	●
		ウグイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドジョウ科	シマドジョウ																			○
		ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナマズ目	ギギ科	ギバチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ナマズ科	ナマズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サケ目	サケ科	ヤマメ																○			
キュウリウオ目	キュウリウオ科	アユ (回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボラ目	ボラ科	ボラ (回)							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダツ目	メダカ科	メダカ					○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	○	○		○	○	○													
		グッピー	○		○																
スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル														●		●			
		コクチバス															○	○	○	○	
		オオクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハゼ科	マハゼ (回)																		○	○
		トウヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ヨシノボリ(橙色型)												○		○	○				
		ジュズカケハゼ																			○
		ウキゴリ																			○
		ヌマチチブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	タイワンドジョウ科	カムルチー																○	○	○	
9	13	32																			
確認種合計			19	19	19	20	19	19	17	19	18	18	18	21	19	19	22	21	21	23	23

爬虫類・甲殻類・水生昆虫類・他

生物種・数			H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
目	科	種名																			
カメ目	スッポン科	スッポン						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヌマガメ科	ミシシippーアカミガメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イシビル目	イシビル科	シマイシビル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ(カワ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	テナガエビ科	テナガエビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		スジエビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イワガニ科	モクズガニ													○	○	○	○	○	○	○
端脚目	ヨコエビ科	ニッポンヨコエビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トビケラ目		トビケラの仲間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ											○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アメンボ科	アメンボ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメムシ目	タイコウチ科	タイコウチ														○		○			
	ミズムシ科	ミズムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カワゲラ目		カワゲラの仲間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カゲロウ目		カゲロウの仲間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トンボ目	ヤマトンボ科	コヤマトンボ																			○
	サナエトンボ科	コオニヤンマ						○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カワトンボ科	ハグロトンボ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
11	17	20																			
確認種合計			14	14	14	14	14	16	15	16	16	16	17	17	18	19	18	18	17	17	19

(記号説明) ○:当日確認種(捕獲) ●:目視確認種(未捕獲) 回:海域から遡上してくる回遊性魚類